

5-地図 交通・鉱山その他の商業都市



6-古紙幣 江戸時代の藩札など



標津国40 尾崎銀札 安永6



標津国39 木下金札 安永3

7-竹森文庫 東洋經濟新報記者竹森一則 の政治經濟書籍群



品川区戸越時代

8-文書・書籍

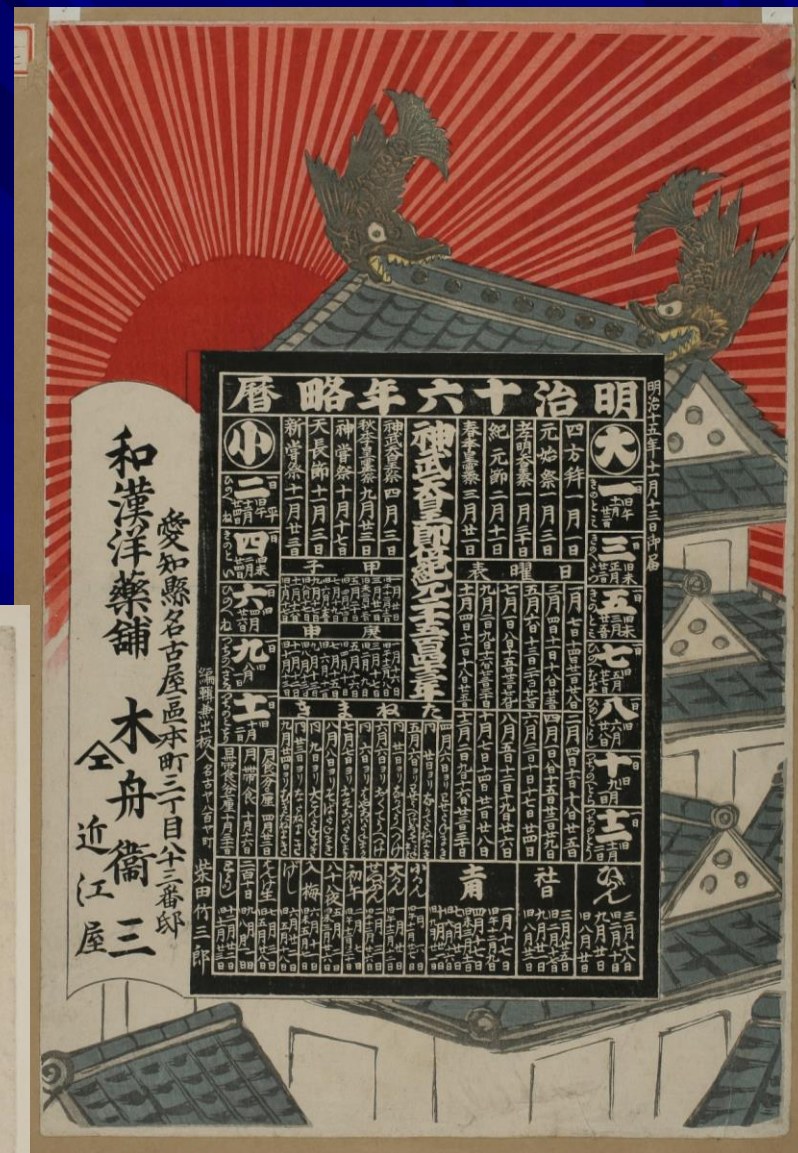
- 近世古文書-大福帳・仕切帳など
- 製紙・醸造関係会社の商標帳
- 生糸・織物見本帳
- 写真帳-栃木県足尾銅山選鉱所、埼玉県鋳物工場、竹細工工場
- 国勢統計図彙



9-産業経済器物資料



10-広告





品川区戸越時代

モノ資料への保護 措置

品川区戸越時代



収蔵庫3-器物資料

主として「日本実業史博物館」モノ/資料



立川市の収蔵庫

連携研究成果の公開

複合的な素材を含む資料 の状態調査法

文化財修復学会代29回大
会ポスター発表(静岡)
070616

委託調査 (財)元興寺文化財研究所
金山 正子 小村 眞理 角南聡一郎

1. はじめに

歴史資料を保存する施設といえば、多種多様な種類の資料を保存する博物館をはじめ、記録資料を中心とする（公）文書館、書籍を中心とする図書館、地域資料を中心とする郷土資料館、社寺に伝来する資料を保存する宝物館、企業に関連する資料を保存する企業博物館など、その位置づけはさまざまである。しかし、多くの施設では必ずしもその看板に限定された資料だけを保有しているのではなく、それに付随する、あるいは関連する資料を複合的に保管している場合が多い。そして当然のことながらそれらの資料は紙、繊維、木、石、金属など多種多様な素材で形成されている。そのような複合的な素材を含む資料の保存を考えた場合、全体的な保存計画を立案するためには、限定した資料の材質だけでなく、複合的な素材の劣化状態を把握する調査の手法が必要となっている。しかし、これまで状態調査は特定の種類の資料を比較するために実施される場合が多く、紙資料、彩色資料、図書資料などの種類ごとに手法が試行されてきた。そこで、本発表ではこれまでに(財)元興寺文化財研究所で実施してきた調査を事例とし、複合的な素材を含む資料の状態調査の手法について検討する。

2. 調査項目

資料番号 作成年代 表題

ラベル(有無、記入事項)

寸法(X×Y×Zmm) 数量 重量 収納寸法

材質(木・竹・布・紙・皮革・金属・その他)

銘(有無) 記載場所 附属品(有無、寸法)

資料の劣化状況

全体の状態・虫損・汚損・変色・染み・カビ・錆・亀裂・破損・欠損・欠落・磨耗・ゆがみ・変形・塗りの剥離・塗りの剥落・その他、各劣化の度合い

各劣化項目を無・弱・中・強の4段階判定

劣化の特徴(メモ)

耐光性(強弱、光に弱い部位)

強度(強弱、衝撃に弱い部位)

最長展示期間

その他注意点 過去の補修(有無)

その他の特徴

必要な保存処置

3. 調査の手順



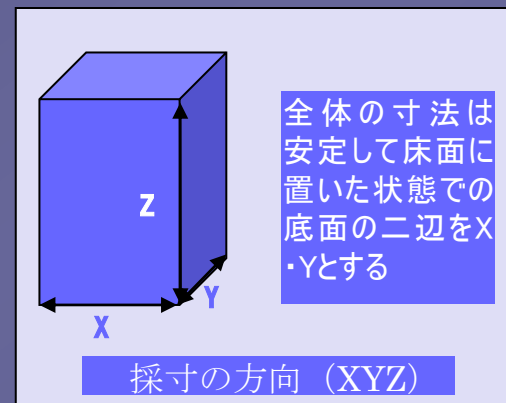
資料の外観および劣化症状をデジタル写真で撮影する。



資料の寸法を測定し、劣化症状をチェックする。各部位の寸法と劣化症状の特徴などはデジタル画像の打ち出しに直接記入する。

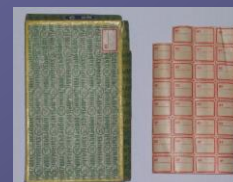


全体寸法のXYZにもとづき、大型資料の収納箱を作製する。



資料に記されている「銘」や貼られている「ラベル」なども調書に記録し写真撮影しておく。銘は資料の製作や種類、伝来などを示す情報であり、またラベルもその資料群の出所を判定しグルーピングする際にも有効な情報となる。

作業手順の紹介写真は、国文学研究資料館所蔵「日本実業史博物館」資料状態調査でのもの。人間文化研究機構総合推進事業連携研究一文化資源の高度活用「『日本実業史博物館』資料の高度活用」(研究代表 青木睦(国文学研究資料館 アーカイブズ研究系))の一環で、器物資料の状態調査が(財)元興寺文化財研究所に業務委託されている。



資料に貼られたラベルと未使用のラベルの入った箱(実博資料/国文研)

4. 劣化判定

レベル	状態	劣化の度合い
0 無		該当する劣化がみられない
1 弱		該当する劣化が若干みられるが、利用には差し支えのない程度。
2 中		該当する劣化がかなりみられるが、気をつけて取り扱えば利用に供することは可能。ただし劣化の進行が懸念されるので早急な処理がのぞまれる。
3 強		該当する劣化が顕著で利用に供することができない。劣化が進行しているので早急に保存処理が必要である。

錆の判定の基準例

劣化度の判定は、該当する劣化の進行およびその劣化が資料にどの程度の範囲でみられるかを4段階で判定する。また、その資料を安全に利用に供することができるかどうかという視点に基づいて判断する。すでに進行している錆などは緊急性を要する劣化として判定する。金属は種類により錆の症状が異なるので、部位ごとに材質欄に記入しておく(鉄－茶色、銅－緑青、アルミ－白色)。



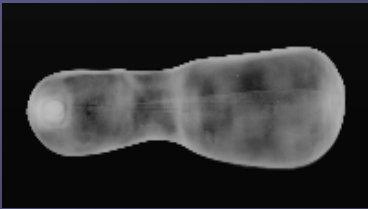
資料の保存状態をチェックし、劣化症状の判定をする。また劣化度判定ののち、それぞれの資料について今後必要な保存処理の選定をする。

緊急度の高い劣化

カビ、錆、亀裂、顔料の剥離・剥落などは劣化の進行が予想されるため、早急な保存処置が望まれる。優先順位の高いものはその旨も調査票に記入しておく。カビと汚れは判別しにくいものが多く、また繁殖するカビなのか色素だけなのかにより今後の対処が異なる。必要があればサンプリングして培養試験をする。

5. X線分析の活用

紙で造られた瓢箪



型の外面に和紙を貼り付け乾いたら型を抜く張り子の技法で作られており、外側に黒漆を塗って仕上げられている。X線撮影によってその接合面が確認できた。また栓は木製でできている。



紙で造られた茶壺



紙の壺の外側に黒漆を塗って仕上げられている。取手は木製でできている。



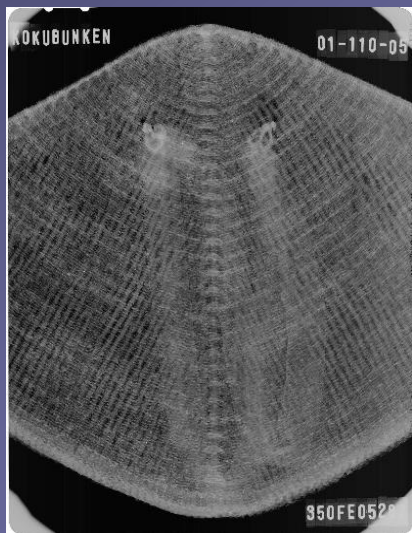
撮影／(財)元興寺文化財研究所 雨森久晃

使用機器／X線カラーシンチレータ方式X線透過装置TCX8001 (株)東芝製

前出 国文研所蔵「日本実業史博物館」資料状態調査より。今年度は、紙でできた笠・瓢箪・茶壺のX線撮影を行ない、構造の観察をして製作工程や加工技術の確認を行なった。紙でできた資料のX線撮影の難しさはX線の強度の調整にある。強すぎるとX線は紙を透過してしまうので、弱いX線を照射してフィルムを感光させると紙の陰影が写し出される。

紙で造られた笠

縦糸・横糸ともに紙撚りで編まれており、三角形に編んだ面を4つ綴じ合わせて笠にして、その上から黒漆をぬ塗って仕上げられている。



6. 動画による調査記録



DVD「復活！日本実業史博物館調査報告 2006年」の作製

内容：平成18年度の調査記録／昭和15年経済文化展覧会の写真帖を見る／両替屋店頭展示の復元（12分）
写真はDVDの表紙



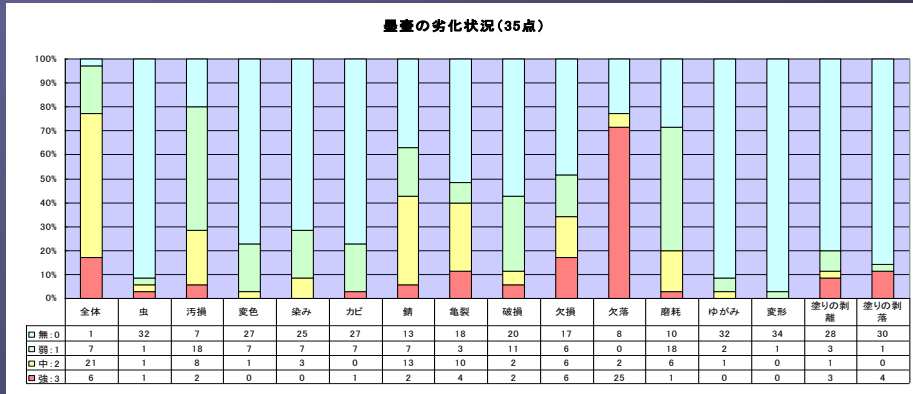
「実業史博物館」資料で昭和15年の写真帖にある両替屋の店頭展示を復元し、その作業の様子を撮影収録した。写真は復元した店頭展示。

渋沢敬三らにより収集された日本実業史博物館資料は、戦中戦後の社会状況の中で博物館建設は実現されなかったが、収集されたさまざまな資史料は、現在は国文学研究資料館に収蔵されている。そのうち年間1,000点の器物資料の状態調査をH18～H20年の3カ年で行なう予定である。また、状態調査に付随して資料の類型化などの内容研究、動画による調査記録、X線撮影による構造分析などの調査項目を加えていることなどが、新たな状態調査の方向である。

7. 状態調査から保存処理の流れ

全体の 状態	虫損	汚損	変色	染み	カビ	錆	亀裂	破損	欠損	欠落	磨耗	ゆがみ	変形	塗りの 剥離	塗りの 剥落
2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0
3	1	2	1	1	0	0	2	1	0	3	2	0	0	2	3
2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	3	2	1	0	0	0
2	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3	1	1	0	0	0

調査データのうち劣化判定の入力表(部分)



墨壺の劣化項目の劣化度の割合をグラフ化したもの



読売新聞掲載記事(額
絵の修復 2007.3.6)

調査の計画

サンプリング調査か悉皆調査か、調査結果の活用
目的により実施計画をたて、調査期間や必要な人
件費を算出する

状態調査実施

具体的な保存処理メニューの策定のためにはコレク
ションの悉皆調査を行なう

調査報告および保存処理提案

状態調査結果の分析ー劣化の傾向と特徴をまとめ、
今後必要となる保存処理の具体的手法および費
用の算出

保存処理の実施

所蔵側による保存処理費・年間予算の確保、保存
処理の優先順位決定、保存処理の実施

広報活動

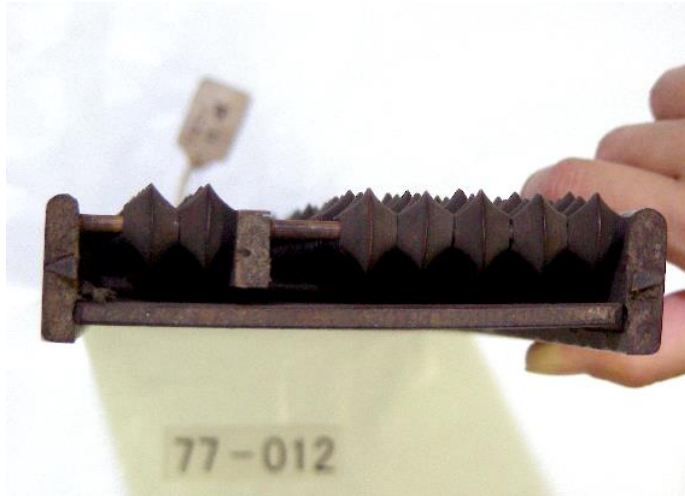
保存処理後に調査や保存処理の過程で判明した
検証を含めて広く公開し、文化財に対する一般の
関心を喚起する

清水建設株式会社での事例
H18年度状態調査
H18・19(・20予定)年度保存処理実施
保存処理概要のプレス発表2007.3.5

8. 複合的な素材を含む状態調査の視点

- 状態調査は人間の五感という優れたセンサーをつかった観察と判定である
- 調査項目は調査結果の活用を想定して、その所蔵館で有効に活用できる項目を設定する
- デジタル画像での劣化状態の記録と打ち出し画像への記入⇒画像記録がリアルタイムで確認できるメリットあり
- 動画を使っでの調査記録
- マイクロスコープを使っでの素材の観察
- X線による観察⇒人間の目視での観察による状態調査を補足する第二の目
- 忘れてはならない調査時にも出来る保護措置⇒できる範囲で行なう
- 劣化判定と同時に今後必要となる保存処置を選定する
- 最終的には保存処理の優先順位をつける

算盤



- 素材と構造の確認
- 劣化症状の確認一玉の破損、木材部材の欠損、歪み、虫損など

実業史博物館資料の状態調査

- 2006年度・2007・2008年度の進捗

	調査日数	調査点数	資料の種類
2006年度	140人日	1040点	銭枴、鑑札、算盤、伊勢辰関係、時計、火付け道具、眼鏡、貯金箱など、大型資料の保管箱作製
2007年度	140人日	1100点	矢立、錠前、広告関係(紙資料)
2008年度	140人日	1000点※	大型資料-筆筭・看板

※2009.2 調査点数は見込み点数

- 研究員による現地指導は2006年度28日(連携研究による協力を含む)、2007年度20日。
- 修復学会でのポスター報告の紹介
「複合的な素材を含む資料の状態調査法」

画像データベースの作成から公開版へ、新規「器物」版作成へ

ファイルメーカー Pro

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) レイアウト(L) スケール(S) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

web用

史料番号 061 分類 産業 年号 明治13 西暦 1880 写真 1/1

シリーズ名

タイトル 皇国蠶之養育

絵師 国周 落款 本名等 荒川八十八

版元 武川清吉 技法 錦絵 数量 3続

画像拡大 タテ×ヨコmm 368×740



解説

宮中の官女が養蚕を行っている図。宮中の養蚕は現在でも行われている。皇后が養蚕を行ったという伝記(『日本書紀』巻第十四、雄略天皇、「天皇、后妃をして親ら桑こきて以て蚕事を勧めしむと欲す」)に基づき、皇后がこの作業を指揮し、天皇がそれを見守る形式で描かれている。天皇・皇后が自ら行って殖産興業の範を垂れるという意味があったと思われる。

三枚続のうち右の絵では、蚕種紙から孵化した蚕を払い落として、蚕箔(蚕をのせる平らな台。通常は竹の籠だが本図では木製の広蓋になっている)に移す作業を描く。奥の紫色の小袖の官女は天井からつるしてあった蚕種紙を取り、床の間を指さしている。床の間には女神像の掛軸かかり、その前に御神酒徳利が捧げられる。上部には蚕種紙と並んで、蚕の守り神とされる馬の絵が吊されている。画面中ほどの2名の官女は

ヘルプ表示には F1 キーを押します。

スタート ファイルメーカー Pro 無題 - ペイント

1811

日本実業史博物館旧蔵
コレクション展

紙

KAMI



幻の博物館の

人間文化研究機構 連携展示

春季特別展

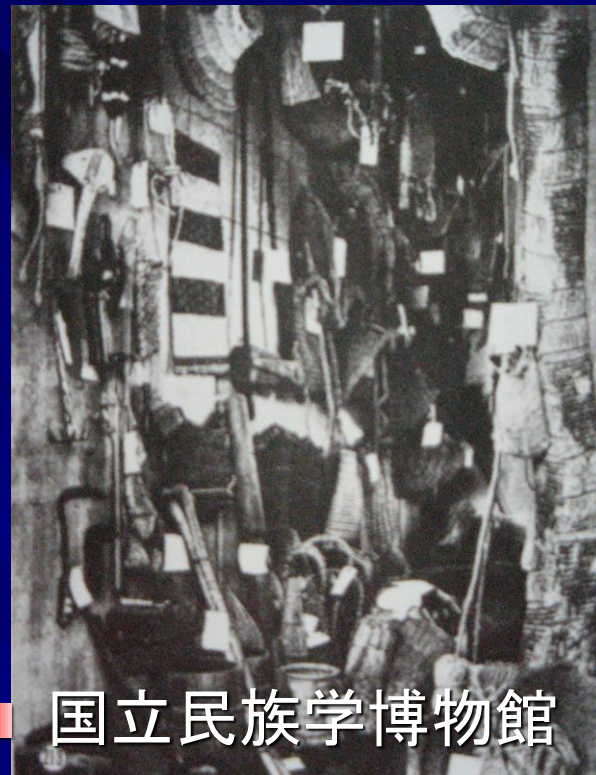
展示室

品川区戸越時代

敬三の博物館

日本実業史博物館

品川区戸越時代

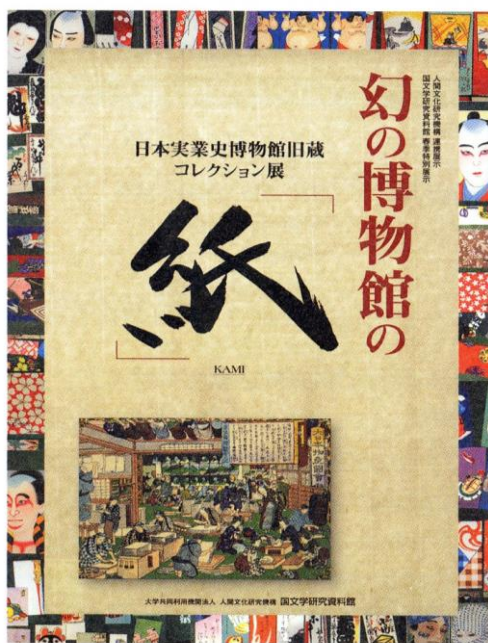


国立民族学博物館



大学共同利用機関としての特性 共同研究の促進 2008年

- ①大型の研究施設・設備の提供
- ②大規模な学術資料の収集・保存・提供
- ③共同研究を行うにふさわしい流動的な
教員組織
- ④**展示と研究が一体となった研究活動**



『幻の博物館の「紙」』展示図録



「幻の博物館の『紙』
——日本実業史博物館旧蔵コレクション」展
立川市の展示室

成果報告展示

2009年3月2日-3月28日

算盤

広告

渋沢敬三

日本実業史博物館資料

渋沢敬三

日本実業史博物館資料展

日本実業史博物館からのメッセージ - 渋沢栄一と算盤・敬三と広告 -

商売繁盛の原点を探る
「商人の道具」

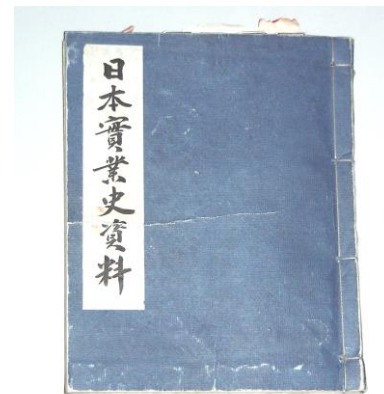
国文学研究資料館

商売繁盛の原点を探る
「商人の智慧」

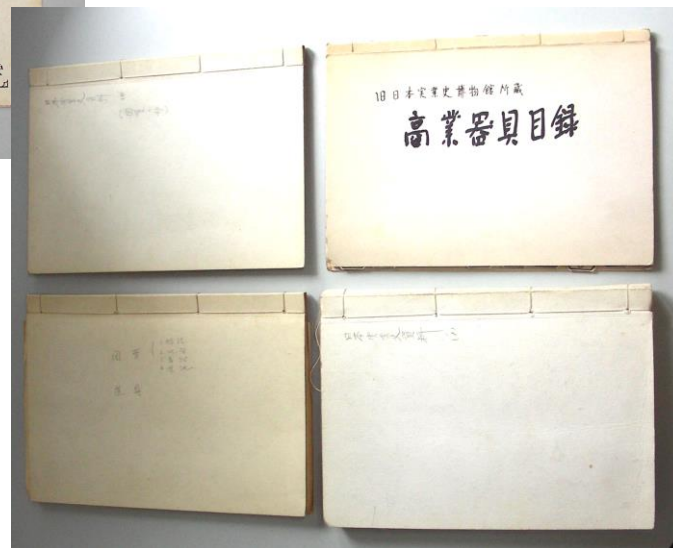
国文学研究資料館

列品台帳・図葉台帳・日本実業史博物館目録・ 龍門社目録・文部省史料館目録

品名	数量	金額	備考
1. 明治 20 年	1	100.00	
2. 明治 21 年	1	100.00	
3. 明治 22 年	1	100.00	
4. 明治 23 年	1	100.00	
5. 明治 24 年	1	100.00	
6. 明治 25 年	1	100.00	
7. 明治 26 年	1	100.00	
8. 明治 27 年	1	100.00	
9. 明治 28 年	1	100.00	
10. 明治 29 年	1	100.00	
11. 明治 30 年	1	100.00	
12. 明治 31 年	1	100.00	
13. 明治 32 年	1	100.00	
14. 明治 33 年	1	100.00	
15. 明治 34 年	1	100.00	
16. 明治 35 年	1	100.00	
17. 明治 36 年	1	100.00	
18. 明治 37 年	1	100.00	
19. 明治 38 年	1	100.00	
20. 明治 39 年	1	100.00	
21. 明治 40 年	1	100.00	
22. 明治 41 年	1	100.00	
23. 明治 42 年	1	100.00	
24. 明治 43 年	1	100.00	
25. 明治 44 年	1	100.00	
26. 明治 45 年	1	100.00	
27. 明治 46 年	1	100.00	
28. 明治 47 年	1	100.00	
29. 明治 48 年	1	100.00	
30. 明治 49 年	1	100.00	
31. 明治 50 年	1	100.00	
32. 明治 51 年	1	100.00	
33. 明治 52 年	1	100.00	
34. 明治 53 年	1	100.00	
35. 明治 54 年	1	100.00	
36. 明治 55 年	1	100.00	
37. 明治 56 年	1	100.00	
38. 明治 57 年	1	100.00	
39. 明治 58 年	1	100.00	
40. 明治 59 年	1	100.00	
41. 明治 60 年	1	100.00	
42. 明治 61 年	1	100.00	
43. 明治 62 年	1	100.00	
44. 明治 63 年	1	100.00	
45. 明治 64 年	1	100.00	
46. 明治 65 年	1	100.00	
47. 明治 66 年	1	100.00	
48. 明治 67 年	1	100.00	
49. 明治 68 年	1	100.00	
50. 明治 69 年	1	100.00	
51. 明治 70 年	1	100.00	
52. 明治 71 年	1	100.00	
53. 明治 72 年	1	100.00	
54. 明治 73 年	1	100.00	
55. 明治 74 年	1	100.00	
56. 明治 75 年	1	100.00	
57. 明治 76 年	1	100.00	
58. 明治 77 年	1	100.00	
59. 明治 78 年	1	100.00	
60. 明治 79 年	1	100.00	
61. 明治 80 年	1	100.00	
62. 明治 81 年	1	100.00	
63. 明治 82 年	1	100.00	
64. 明治 83 年	1	100.00	
65. 明治 84 年	1	100.00	
66. 明治 85 年	1	100.00	
67. 明治 86 年	1	100.00	
68. 明治 87 年	1	100.00	
69. 明治 88 年	1	100.00	
70. 明治 89 年	1	100.00	
71. 明治 90 年	1	100.00	
72. 明治 91 年	1	100.00	
73. 明治 92 年	1	100.00	
74. 明治 93 年	1	100.00	
75. 明治 94 年	1	100.00	
76. 明治 95 年	1	100.00	
77. 明治 96 年	1	100.00	
78. 明治 97 年	1	100.00	
79. 明治 98 年	1	100.00	
80. 明治 99 年	1	100.00	
81. 明治 100 年	1	100.00	



品名	数量	金額	備考
1. 明治 20 年	1	100.00	
2. 明治 21 年	1	100.00	
3. 明治 22 年	1	100.00	
4. 明治 23 年	1	100.00	
5. 明治 24 年	1	100.00	
6. 明治 25 年	1	100.00	
7. 明治 26 年	1	100.00	
8. 明治 27 年	1	100.00	
9. 明治 28 年	1	100.00	
10. 明治 29 年	1	100.00	
11. 明治 30 年	1	100.00	
12. 明治 31 年	1	100.00	
13. 明治 32 年	1	100.00	
14. 明治 33 年	1	100.00	
15. 明治 34 年	1	100.00	
16. 明治 35 年	1	100.00	
17. 明治 36 年	1	100.00	
18. 明治 37 年	1	100.00	
19. 明治 38 年	1	100.00	
20. 明治 39 年	1	100.00	
21. 明治 40 年	1	100.00	
22. 明治 41 年	1	100.00	
23. 明治 42 年	1	100.00	
24. 明治 43 年	1	100.00	
25. 明治 44 年	1	100.00	
26. 明治 45 年	1	100.00	
27. 明治 46 年	1	100.00	
28. 明治 47 年	1	100.00	
29. 明治 48 年	1	100.00	
30. 明治 49 年	1	100.00	
31. 明治 50 年	1	100.00	
32. 明治 51 年	1	100.00	
33. 明治 52 年	1	100.00	
34. 明治 53 年	1	100.00	
35. 明治 54 年	1	100.00	
36. 明治 55 年	1	100.00	
37. 明治 56 年	1	100.00	
38. 明治 57 年	1	100.00	
39. 明治 58 年	1	100.00	
40. 明治 59 年	1	100.00	
41. 明治 60 年	1	100.00	
42. 明治 61 年	1	100.00	
43. 明治 62 年	1	100.00	
44. 明治 63 年	1	100.00	
45. 明治 64 年	1	100.00	
46. 明治 65 年	1	100.00	
47. 明治 66 年	1	100.00	
48. 明治 67 年	1	100.00	
49. 明治 68 年	1	100.00	
50. 明治 69 年	1	100.00	
51. 明治 70 年	1	100.00	
52. 明治 71 年	1	100.00	
53. 明治 72 年	1	100.00	
54. 明治 73 年	1	100.00	
55. 明治 74 年	1	100.00	
56. 明治 75 年	1	100.00	
57. 明治 76 年	1	100.00	
58. 明治 77 年	1	100.00	
59. 明治 78 年	1	100.00	
60. 明治 79 年	1	100.00	
61. 明治 80 年	1	100.00	
62. 明治 81 年	1	100.00	
63. 明治 82 年	1	100.00	
64. 明治 83 年	1	100.00	
65. 明治 84 年	1	100.00	
66. 明治 85 年	1	100.00	
67. 明治 86 年	1	100.00	
68. 明治 87 年	1	100.00	
69. 明治 88 年	1	100.00	
70. 明治 89 年	1	100.00	
71. 明治 90 年	1	100.00	
72. 明治 91 年	1	100.00	
73. 明治 92 年	1	100.00	
74. 明治 93 年	1	100.00	
75. 明治 94 年	1	100.00	
76. 明治 95 年	1	100.00	
77. 明治 96 年	1	100.00	
78. 明治 97 年	1	100.00	
79. 明治 98 年	1	100.00	
80. 明治 99 年	1	100.00	
81. 明治 100 年	1	100.00	



カード目録



所在簿





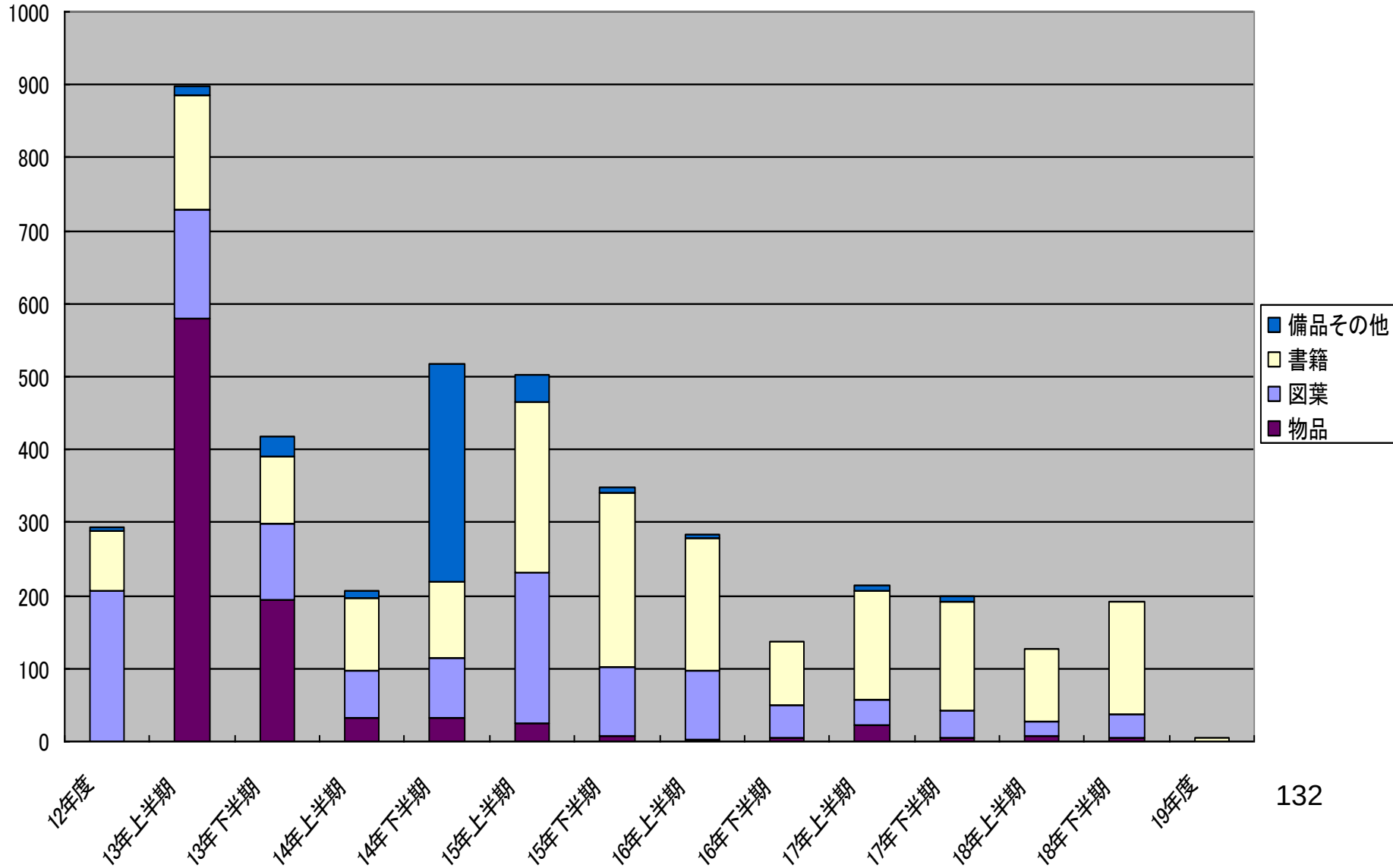
日本実業史博物館資料の 年次の収集過程

品川区戸越時代

購入品数の年次的推移

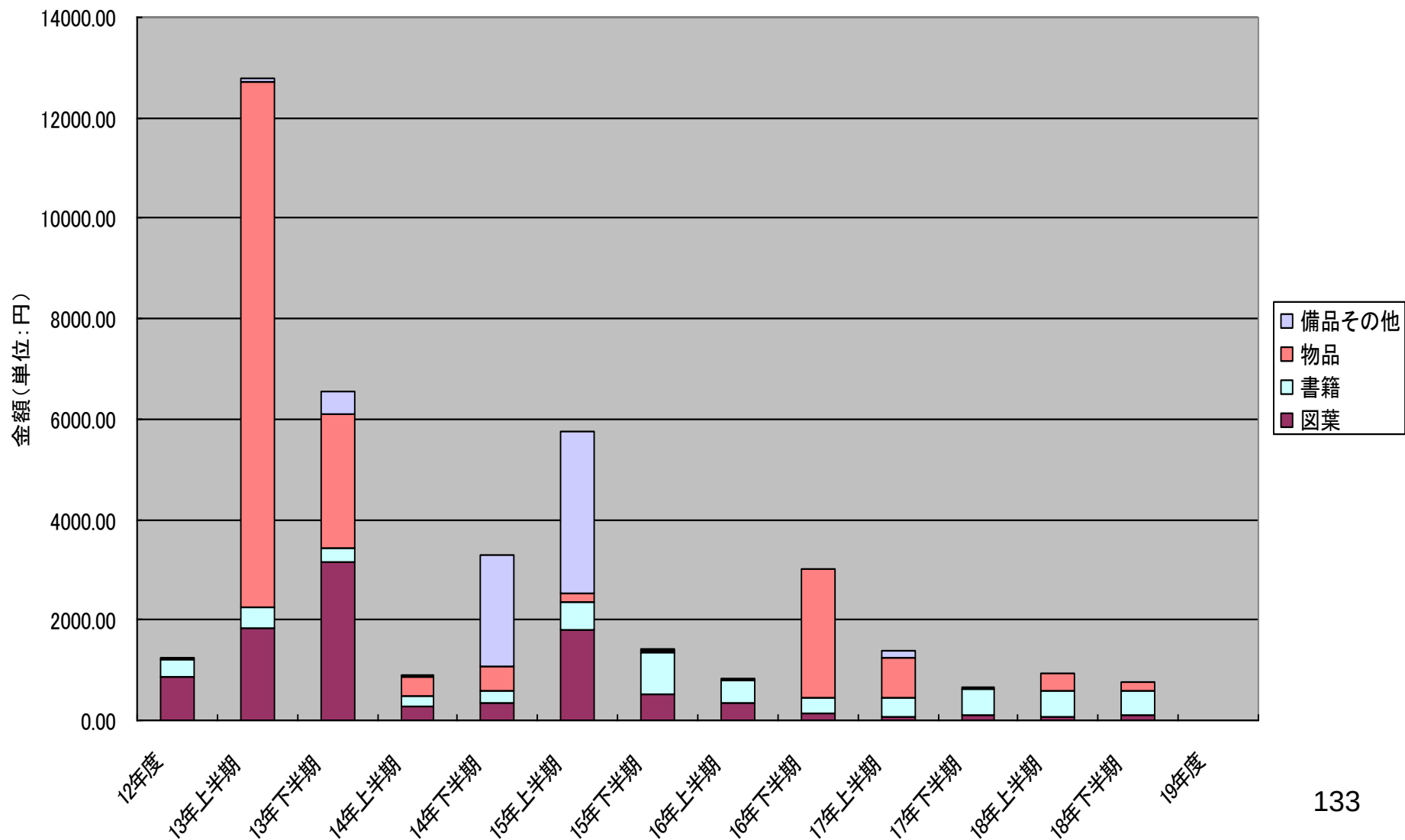
購入品の全体(数量)

購入品数量-点数

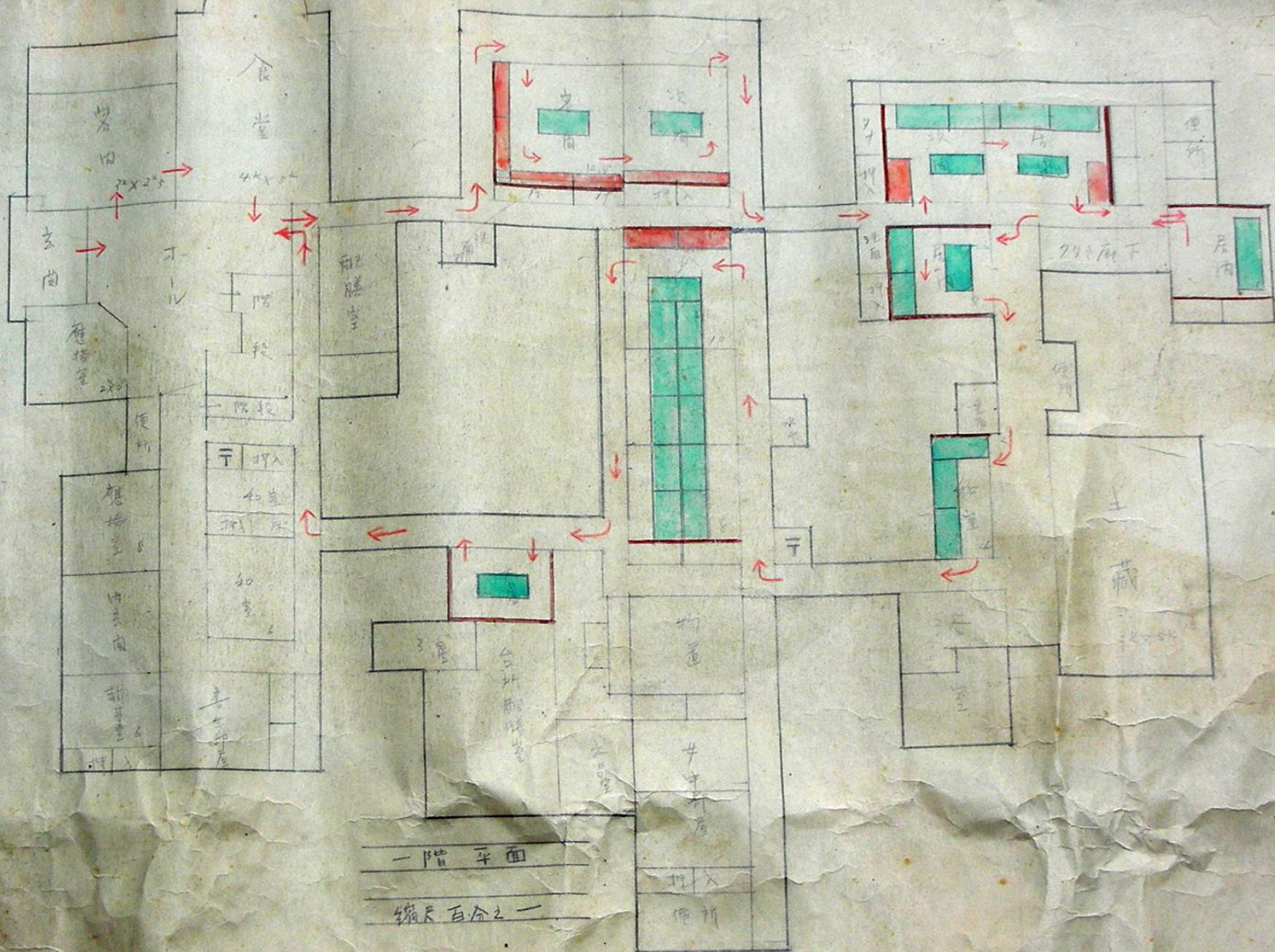


購入金額の年次的推移

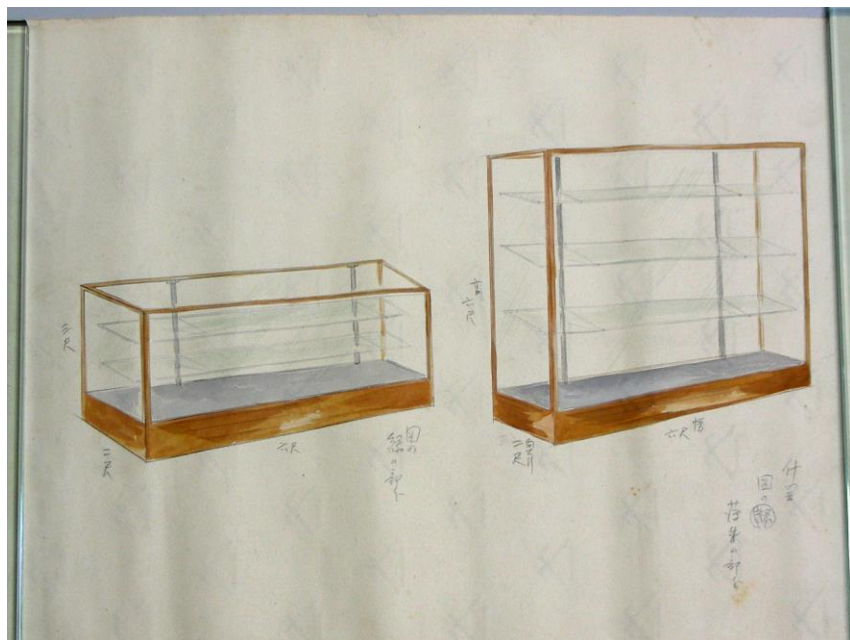
購入品の全体(金額)



旧阪谷邸での「実博」開館準備について



「実博アーカイブズ」図面に巻き込まれた 白木屋作成の展示ケースの図面



渋沢史料館＝もう一つの「青淵翁記念室」

渋沢史料館は、近代日本経済社会の基礎を築いた渋沢栄一が、常に主張し、実践していた「道德経済合一主義」に基づき、経済道義を高揚することを目的とした「渋沢青淵記念財団竜門社(現:公益財団法人渋沢栄一記念財団)」の付属施設として、1982(昭和57)年に設立した。

渋沢栄一の旧邸「暖依村荘」跡(現:東京都北区飛鳥山公園の一部)に設立された渋沢史料館は、大正期の2つの建物「晩香廬」と「青淵文庫」(ともに国指定重要文化財)を施設として開館し、1998(平成10)年に展示を行うための本館を増設した。そこでは、『渋沢栄一伝記資料』の編纂・刊行によって収集された資料を収蔵の核とし、生涯に約500の企業と約600の社会公共事業に尽力した栄一の生涯・業績・思想を展示している。

渋沢栄一記念財団では『渋沢栄一を知る事典』を刊行し、栄一の91年の長い人生を通じて、様々な分野において、尽力した生涯が網羅的に解説されており、栄一の思想や業績を現代に伝えている。

渋沢栄一記念財団 実業史研究情報センターと

渋沢敬三没後50年の記念事業

2003年11月に設置された実業史研究情報センターは、青淵翁記念日本実業史博物館構想を現代的な形で実現することを目的とし、豊富な参照手段を備えたデジタル・ライブラリーの構築を目指した活動を行っている。

渋沢敬三の没後から50年にあたる今年、渋沢敬三記念事業としてシンポジウム・講演会・企画展などの多くの渋沢敬三記念事業をセンターが軸となって企画している。

＊渋沢記念事業公式サイト「渋沢敬三アーカイブー生涯、著作、資料ー」(<http://shibusawakeizo.jp/>)

企画内容・代表者

1. 渋沢敬三没後50年展示企画「復元 渋沢青淵翁記念室」に関する研究(国文学研究資料館: 青木 睦)
2. 敬三資料の整備と活用: (1) 渋沢史料館所蔵 渋沢敬三関係資料の整理・目録化 (2) 渋沢敬三展の開催(渋沢史料館: 井上 潤)
3. 「渋沢栄一伝記資料編纂」と「日本実業史博物館設立計画」の進行過程に於ける渋沢敬三と竜門社との相互関係の様相に関する調査(大谷明史)
4. 敬三関連情報へのアクセス向上: (1) 渋沢敬三総合年譜の作成 (2) 収集資料群の把握 (3) 敬三紹介サイトの作成(実業史研究情報センター: 小出いずみ)
5. 「渋沢敬三没後50周年記念」を冠した特別企画展示の実施(国立民族学博物館: 近藤雅樹)
6. 渋沢敬三の「実業」「実学」思想の研究: 概念の拡がりや研究援助・社会貢献の思想に焦点をあてて(東京大学: 佐藤健二)
7. 国際シンポジウム・仮称『渋沢敬三の資料学』準備及び開催(神奈川大学日本常民文化研究所: 佐野賢治)
8. 実業家・財界人としての渋沢敬三の研究(東京大学: 武田晴人)
9. 渋沢敬三及びアチック関係映像資料のデータベース化とその活用、公開(宮本記念財団: 宮本瑞夫)
10. 渋沢敬三研究(由井常彦)

関連文献

- ・『澁澤敬三著作集 全5巻』 網野善彦・渋沢雅英・二野瓶徳夫 編（平凡社、1992-1993年）
- ・『澁澤敬三先生景仰録』（同編集委員会編、東洋大学、1965年）
- ・渋沢史料館編『祭魚洞祭：渋沢敬三没後50年企画展』 公益財団法人渋沢記念財団渋沢史料館、2013年。
NCID BB13917096。
- ・渋沢雅英『父・渋沢敬三』（実業之日本社、1966年）
- ・『澁澤敬三』（澁澤敬三伝記編纂刊行会（上・下）、1979-81年）
- ・佐野眞一『旅する巨人 宮本常一と渋沢敬三』（文藝春秋、1996年／文春文庫、2009年）
- ・佐野眞一『渋沢家三代』（文春新書、1998年）
- ・拵嘉一郎『澁澤敬三先生と私－アチック・ミュージアムの日々』（平凡社、2007年）
- ・宮本常一『宮本常一著作集50 渋沢敬三』（田村善次郎編、未来社、2008年）
- ・丸山泰明『渋沢敬三と今和次郎－博物館的想像力の近代』（青弓社、2013年）
- ・由井常彦・武田晴人編『歴史の立会人－昭和史の中の渋沢敬三』（日本経済評論社、2015年）
- ・加藤幸治『渋沢敬三とアチック・ミュージアム』（勉強出版、2020年）
- ・DVD『学問と情熱 第34巻 渋沢敬三 常民へのまなざし』（紀伊國屋書店評伝シリーズ、2007年）藤原道夫
演出・佐野賢治監修、ナレーター中井貴恵（65分）
- ・渋沢史料館・渋沢栄一記念財団情報資源センターは、渋沢栄一と実業史に関する情報資源を開発・提供。
栄一を近代経済社会の文脈におき、現代に繋がる事績の意義研究を支援。資料の提供を企図した渋沢敬
三の青淵翁記念日本実業史博物館構想の現代的な実現が使命とする。